



JCLIFE

2022年
新春号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook:<http://www.facebook.com/isojcnw>



二〇二二年度 理事長
今岡 正英

ふるさとを一度離れ帰郷した際の感動を忘れることはできません。当たり前だった日常の景色は、自然と文化が見事に融合した美しい景色へと変わっていました。近くにある宝というものは日常に溶け込んでしまえばその価値に気付くことはありません。一度離れることによって、またその宝に初めて触れる人々によって価値に気付かされていくものです。尾道で生まれ育った人は誰しもふるさとを誇らしく思ったことはあるはずです。郷土愛という精神は必ず皆感情のどこかに持っています。私たち青年会議所の活動の源は郷土愛にあります。地元地域をもっと良くしたい、地元地域の人々をもっと元気づけたい、そうした想いからすべての思考は始まります。現在は幅広く様々な活動を行っています。他団体には無い独特の氣質を「まち」「ひと」のためにもっと活用していくべきと考えます。青年会議所はまちに支えられ育てて頂いた団体でもあります。尾道を代表する青年経済人として、育てて頂いたまちに恩返しをしていくその使命を負っているということを自覚しておく立場となった今、未来のため次世代のために郷土愛溢れる活動をしてまいります。

守破離とは

まちゃひとへの恩返しをしていくために必要な心掛けは「守破離」の精神にあると考えています。守破離とは本来修行における過程を表したものです。

【守】先人の教えを忠実に守り、基礎を確

実に実行していく様

【破】基礎を守りつつも応用や改善を重ね、自分の想いを加えていく様

【離】自らの考えや想いで、新しいものを生み出していく様

しかし、私が考える守破離とは過程ではなくその二つを大切にしていくというものです。青年会議所が実施していく事業には、守に重きを置くべきもの、破に重きを置くべきもの、離に重きを置くべきものをすべて存在します。内容によってどの精神を大切にすべきなのか判断していく必要があります。常に変化し続けるこれからの時代、今まで通りの手法でいくのか、今までとは少し違う方法をとるのか、全く新しいスタイルを取り入れるのか、自分の信念を持って選択していくことが求められます。

尾道青年会議所は1957年に県内4番目の青年会議所として設立されました。本年度は創立65周年を迎えます。これまで長きに亘りまちのためひとのために活動されてきた先輩諸氏がいたからこそ、そしてこのころ魂を途切れることなく紡いできたからこそ65周年という節目を迎える事ができています。様々な歴史を作り上げてこられた先輩諸氏に敬意を表するとともに、今度私たちが新たな歴史を築いていくその立役者にならなければいけません。新たな歴史の第一歩として、本年度はまちの人々に笑顔と感動を届ける記念事業を開催いたします。先の見えない不安定な状況にあっても、明るい笑顔と深い感動は人々を和ませ心を豊かにしてくれます。

市民が青年会議所に期待していること、それはまちづくりです。近年よく耳にする言葉があります。「JCって何をしているの?」この言葉を聞く度にまちへ貢献できているのか考えさせられます。ではどういう存在であるべきなのか。市民が求めているものを把握し応えるのがJC、困った時に助けるのがJC、体力気力・知力を惜しみなく提供するのがJC、このように考えています。これまで先輩諸氏が作り上

げてこられたまちづくり事業もまさにこうした活動だったのです。誰もが青年会議所の活動に賛同してくれるよう、市民の期待に応える事業を展開してまいります。

コロナ禍によって都市部から地方に関心が高まっているいま現在、地方における未来志向の活動は今後益々注目されていくと考えられます。地方は都市部とは全く違う魅力に満ち溢れています。山や海に囲まれた自然豊かな街並み、人情味あふれる人々、何よりまちの一体感が最大の魅力です。尾道はまさにそのような地方であり、発信すべき素材は数多く存在します。まだ陽の目を見ていない場所でも輝きを放つ可能性は十分に秘められています。暗い話題が渦巻いている今だからこそ、尾道の持つ多様性を活かして、人々が集う活気あるまちにしていかなければいけません。地域の未来を創る、青年会議所はそのきっかけを生み出す役割を担っています。

本年度尾道青年会議所は11年ぶりに広島ブロック協議会のアカデミー事業を開催します。コロナ禍により中止せざるを得なかった昨年度の想いも込め、本年度は開催に向けて進めてまいります。入会年度の浅い会員にとって、広島ブロック協議会内での交流は極めて貴重な経験となります。井の中の蛙状態では、他LOMに在籍する才能豊かな人との出会いがありません。自分の持つ更なる可能性に気付くこともできません。青年会議所の魅力は人との出会いでもあります。地域間の結束をより強固なものにしていくために、尾道らしい特徴を活かしたアカデミー事業を構築してまいります。

尾道の未来を託すのは私たち青年世代ではなく、現在の子どもたち、他なりません。その子どもたちに対し私たちは今何が出来るのか、将来を見据え考えていく必要があります。子どもたちが成長し大人になった時「小さい頃青年会議所の人たちからこんなことを学んだな」と思い出し、何十年先にも記憶に残るような事業を展開したいと考えています。それが原動力となりまちに恩返しをしていくことに繋がればこれほど嬉しいことはありません。

せん。現在は少子高齢化により地方の子どもたちは益々貴重な存在となつていきます。県外への流出は何としてでも避けなければいけません。尾道に戻りたい、尾道のために働きたい、そう思える郷土愛作りの一端を担いたいと考えています。

近年深刻な問題となつてきている会員減少、10年前と比べ約20名減少しています。会員拡大の活動は続けているのに入会者数は伸び悩んでいます。その根本的な原因のつは主体性の低下です。誰かがやってくれるだろうという考えが心のどこかに存在していることです。もう一つは青年会議所の活動意義を語れていないことです。自信を持つて語ることができなければ伝えることもできません。どちらも取り組む姿勢が関係しています。ではどうすれば良いのか、それは当たり前のことですが青年会議所の活動に真摯に向き合うことです。気持ちを含めて取り組むことができれば、自ずと当事者意識も芽生え活動意義も語れるようになりまします。そして生き生きとした魅力的な人間へと変化していきます。結果としてそれが青年世代へと伝わり会員拡大へと繋がっていくことは間違いありません。

未来のために

現状だけを見るとしんどく辛いものばかりかもしれませんが、活動に消極的になつてしまふ時期があるかもしれません。しかし青年会議所で活動する価値というのは卒業した後に湧き上がってくるものです。卒業した後の姿を想像してみてください。やりきったからこそ一度と得ることのできない知識や経験を手にしています。何より一生の仲間ができています。青年会議所に所属できるのは生涯の中でも限られたわずかな期間だけです。未来の自分のため、未来の尾道のため、未来の社会のために、今できることに精一杯取り組んでまいります。その取り組みこそが青年会議所の存在意義となり、未来のまちの創造へと繋がっていくのです。これまで長きに亘つて紡いできた先輩諸氏の想い、そして皆さんの想いを結集しまちへの感謝を形にしていきたいと思います。

高橋会長年頭挨拶



尾道青年会議所
シニアクラブ
会長 高橋 宏明



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
日頃よりシニアクラブに対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年12月3日に開催されましたシニアクラブにおいて、安保雅文会長からご指名を頂きお引き受けする事となりました。重責を全うして参りますので引き続きご支援の程お願いいたします。

昨年は加度亮平広島ブロック会長を輩出し、安楽城大理事長の下2年続いたコロナ禍の中にありながら「おのみち2525プロジェクト」など地域を明るくするJC活動が続けてこれられ、OBと致しましても大変誇りに感じております。

今年度は今岡正英理事長が「守 破 離」郷土の誇りを未来へ」のテーマを掲げられ郷土愛を育む活動をスタートされます。次世代の為に素晴らしい活動をされる1年になることを祈念致しております。

また、今年で尾道青年会議所は創立65周年を迎える事になりました。OB諸兄におかれましても、当時の青年会議所活動を振り返り懐かしい思い出と共に盛り上がり上げて頂きたいと思っております。

現役会員並びにOB会員皆様のご健康とご活躍を祈念してご挨拶と致します。

理事長新年のご挨拶



第66代理事長
今岡 正英



あけましておめでとございます。

旧年中は尾道青年会議所の活動に対し格別なるご高配を賜りました事、厚く御礼申し上げます。「守 破 離」郷土の誇りを未来へ」2022年度はこのテーマのもと心一つにスタート致します。一昨年、昨年と新型コロナウイルスの感染拡大により私たちの暮らしは一変し、日常の行動でさえも困難になるほど多大な影響を受けました。暗い話題が渦巻く世の中だからこそ、明るい豊かな社会の創造を目指す尾道青年会議所がこれまで以上にまちのため、ひとのために行動していかなければなりません。我々の取り組みこそが尾道の「誇り」を未来へ繋ぐ架け橋になると信じ活動を展開して参ります。

本年度は創立65周年の記念事業を実行致します。尾道青年会議所の存在価値を示すとともに、愛すべき故郷である尾道を再び活気あるまちに変えていけるよう尽力して参ります。一年間宜しくお願い申し上げます。



(記事…セクレタリー 安保大輔)

1月6日(木) 正副事務局メンバーで良神社へ初詣に参りました。

今岡理事長の下、ウイズコロナの時代の中で我々尾道JCが「まち」「ひと」のために成すべきことは何なのか。各々が思いを巡らせながら、今年度の活動の成功とメンバーの健康、そしてまちづくり・ひとづくりへの貢献を願いご祈禱を頂きました。65周年という節目、想いを一つに一年間邁進してまいります。



卒業例会

12月15日(水)尾道国際ホテルにて、2021年度最後の例会となる12月卒業例会が行われました。

本年度の卒業例会は「恩返し～感謝と敬意～」をテーマに掲げ、長年尾道JCを支え、我々現役メンバーを導いて下さった卒業生の皆様への感謝と尊敬の気持ちをお伝えする為、小西委員長率いる総務広報委員会を中心に、委員会の垣根を超えた多くのメンバーが協力し合い準備を進めてまいりました。

当日は多数のOB・特別会員の諸先輩方にお越しいただき、温かく、そして厳かな空気の中で始まりました。卒業生8名の努力の日々と功績の数々を映像を通じて振り返りました。入会当時の若々しい青年の姿と壇上で自信に満ち堂々と話されている現在の姿の対比は、JCで過ごした日々の重み、その価値を実感させられるものであり、お互いに万感の思いを込めた送辞・答辞は、寂しさ、感謝、達成感、そして激励、様々な感情が凝縮された素晴らしいものばかりでありました。

改めまして、卒業例会にご協力頂きました全ての皆様に、厚く感謝申し上げます。

池田知和先輩、大前慶倫先輩、小川直紀先輩、加度亮平先輩、高山敦好先輩、政成啓行先輩、溝口佳矢先輩、美ノ上仁孝先輩、ご卒業おめでとうございます。皆様のご健勝と、さらなるご活躍を心より祈念いたします。

(記事：2021年度 総務広報委員会 幹事 森田 洋一郎)

高山 敦好 先輩

池田 知和 先輩

大前 慶倫 先輩

小川 直紀 先輩

溝口 佳矢 先輩

政成 啓行 先輩

美ノ上 仁孝 先輩

加度 亮平 先輩



最後に、飲食店メンバーの協力で用意した特別なオードブルを持ち帰って頂き、おうちクリスマスを楽しんで頂けたと思います。
日頃の活動を支えてくれているご家族に、拡大研修委員会「丸」となつて「粋」なおもてなしをさせて頂いたクリスマス会でした。

(記事：2021年度拡大研修委員会委員長 吉田 嵩正)

アトラクションの後には、今岡理事長予定者の扮するサンタクロースがトナカイに呼ばれて登場し、子ども達にプレゼントを手渡しました。また、日頃の感謝を込めてシクラメンをメンバーからお渡し頂きました。
そして、半田委員自信作のクリスマスパネルでインスタ映えする記念写真を撮影し、素敵なクリスマス会の思い出を残して頂きました。

岡本副委員長の渾身のお菓子縁日では、ビニールプールに山盛りになったお菓子を子ども達は大喜び。袋いっぱいにお菓子を詰め込み満足そうな笑顔がとても印象的でした。その他にも、ボーリングに水中コイン落とし、チロルチョコ積みチャレンジで遊んで頂きました。
ケーキのトッピング体験では、子ども達の表情は真剣そのもの。親子一緒に素敵な飾り付けをする姿が微笑ましい限りでした。また、新入会員の向井君も存在感を放つ活躍を見せてくれました。

12月5日(日)、グリーンヒルホテル尾道にてクリスマス会を開催しました。テーマ「Smart Christmas」と題し、大勢の家族と楽しい時間を過ごすことができました。本年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、会食をなくし短時間で楽しんで頂ける設えとしました。



2022年度 委員長 あいさつ



65周年実行特別委員会

副実行委員長 加藤 雅崇

◆テーマ 「Imagine」



新年明けましておめでとうございます。
本年度65周年実行特別委員会の副実行委員長を仰せつかりました加藤雅崇と申します。

創立65周年にあたる尾道青年会議所が今後もまちのために元気に活動していくために、過去に敬意を持ち、未来に思いを馳せ、想像力を活かして頑張りたいと思います。

今岡理事長の「守破離」の元、委員会メンバー一丸となって頑張っています。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

総務広報委員会

委員長 村橋 聡

◆テーマ 「年中夢求」



新年あけましておめでとうございます。
本年度、総務広報委員会の委員長を務めさせていただきます村橋聡と申します。

当委員会は「年中夢求」をテーマとして、メンバーの皆様が、JC活動を夢中でできる環境づくりをしていく所存でございます。

そのことが、結果的に尾道のまちのためになる近道ではないかと考えております。

痒い所に手が届く。そんな総務広報委員会を目指します。1年間よろしくお願いいたします。

事務局長

中島 裕一朗



新年あけましておめでとうございます。
2022年度事務局長をつとめさせていただきます中島裕一朗と申します。

今年度は今岡理事長の守破離テーマのもと65周年という節目の年を迎えます。

事務局もともに盛り上げて青年会議所活動の可能性を広げられるよう運営のサポートをさせていただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

共創まちづくり委員会

委員長 平岡 良之

◆テーマ 「継がれてきたものを継ぐために」



新年明けましておめでとうございます。
本年度、共創まちづくり委員会委員長を務めさせていただきます、平岡良之です。

テーマを「継がれてきたものを継ぐために」とさせて頂き、これまでに先輩方から受け継がれてきた伝統文化を継承し、まちの活を取り戻すために活動を行ってまいります。

一年間、どうぞ宜しく御願い致します。

まちの未来創造委員会

委員長 村上 直弘

◆テーマ 「結」



本年度、まちの未来創造委員会の委員長を務めさせていただきます。村上直弘です。

まちの未来を考えていく上で、自身の所信にも書いたように、地域との結束は重要です。先人たちが紡いできた“絆”や“想い”が、今の尾道を作ってきました。この尾道を今の厳しい状況下でも一歩踏み出し未来へと結ぶことが当委員会の役割だと考えています。

そして、今岡理事長の掲げる『守・破・離』のもと、基礎を守りながら良いものを吸収し、心身共に新たな尾道青年会議所らしさを創造できるように頑張っていきたいと思えます。

最後になりますが、今年は尾道青年会議所の設立65周年の年になります。65年に亘り諸先輩方の想い、そして地域の皆様が紡いできた尾道、このまちの未来の創造ため一年間メンバーと共に精進していきます。

青少年育成委員会

委員長 半田 祐喜

◆テーマ 「今を全力で楽しむ」



明けましておめでとうございます。青少年育成委員会の委員長を務めさせていただきます半田祐喜です。無限の可能性を秘めた子供たちは、感性や個性を大事にしてもらいたいと思っています。秘めた力を引き出すサポートができるような活動を行います。

仕事も遊びもJCも、せっかくやるなら、その時しかないその瞬間を全力で楽しみながら必死で頑張ります。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

会員拡大委員会

委員長 沼尾 一

◆テーマ 「新しい風」



明けましておめでとう御座います。本年度、会員拡大委員会委員長を務めます沼尾一です。明るい豊かな社会の実現の為に、多くの仲間を迎える必要があります。委員長という責任ある立場を通じて、自分の殻を破り、メンバーと共に成長することのできる一年間にしたいと思えます。また、拡大活動の為に、諸先輩方のもとに訪問し、ご協力をお願いする場面もあると思えますが、どうぞ宜しくお願い致します。

編集
後記

今年がJC生活最終年の総務広報委員会委員長の村橋です。歴の長い頼りになる平岡委員長、エンジン全開の加藤副実行委員長、ギリギリを攻めてくれる村上委員長、正攻法で拡大活動をする沼尾委員長、みんなを和ませくれる半田委員長。麦曲之英が大好きな6人で日々頑張っています。本年もJCライフにご期待ください!! (記事:村橋 聡)

